

古参の人が手と足とリロ教でくち。私は毛主席の教でまじ、機械は5人の
 こととよくようになった。著作学習には真字が困難がある。
 毛主席は音・3人の救済屋、赤い太陽がまじで知つた。
 道を歩くのは大したことだが、政治的メクラにまじるとは一番恐ろしいことと
 分った。音があつても心は明く、意志は固い。困難がいくら多くても、
 中から明るい面を探し出す。普通の人には三つの明るい条件を見出した。
 1. 52文字を覚えるには漢字は覚えること。
 2. 寒くても、フンの中で真字は読める。
 3. 暗い所でも読める。
 この三つに一つのものは三つに分かるという唯物弁証法で困難を克服した。
 ちがう学習し、老三編と学んで世界観の思想の改造で大いに前進した。
 中国の革命は世界の革命の一部であることも分るようになった。
 1964年ベトナム支援の物資生産任務を任せ、張り切つてやった。大勢の人は決意書
 と書王、戦場を戦場とし、製薬を弾丸と闘った。質量ともに任務を完遂した。
 毛主席が自ら起し、自ら指導した文革を支持し、多くの人は造反派にはいった。
 年あたりに音・3人が再び昔い生活に陥るとを許さず、修正主義を許さず。
 上海に於ける1月の嵐の中で、また大連合して革命舞臺会ができた。
 毛主席の思想の光輝に照らされて、毛思想の大学校とらまるとも自覚していきす。
 「奢りが人を墮落させ、謙虚が人を成長させる」毛主席の教に従って党員は節
 の欠点と誤りを正すことはいい。また彼らの欠点と誤りがある。
 生産高、67年は66年の50%増を挙げることにできた。
 58年の創設時と比べれば14倍にもなつています。
 賃金は労働保健条例におつて生活補助費を支給し、普通人と同程度の生活
 レベルに上げています。

【上海東不工映画撮影所(旧天馬撮影所)】
 懇談会出席者 文革後東不工と変更
 演出助手、照明係、俳優、舞台係、雑用係 7~8名
 本撮影所に於ける全文芸界の三つの路線の斗争を紹介しす。
 本撮は修正主義のものであり、走資への具があつたことが分る。構成メンバーは作品をみよ
 徹頭徹尾修正主義のものであつたことが分ります。
 毛主席の革命路線は劉少奇の反路線と斗争を~~展開~~展開した。
 基本的な隊列のことは話します。
 文革前の構成 旧天馬撮影所は構成メンバーの大部分は、①在来の日本時代 ②国民政府 ③上海の他
 の所から来たもの……であつたが、次第に変質されていった。
 党内の情状をみよと修正主義路線を進めたい。反革の人たちを把られていた。
 反右派の人たち 主丹鵬は日本帝国主义の文化スパイであつた。白楊は党の切り切り
 国民党の特務でもあつた。創作組の演出家 湯曉舟は国民党の文化少将
 あり、「紅日」「不夜城」を作つた人たす。
 同じく 紅島平も国民党の特務機関、CC 藍永社の特務であつた。
 文学編集者 李洪辛は「燎原」の編集者であつた。
 美術家 葛師庸、徐克己——一人は蒋介石の親兵、もう一人は国民党の特務であつ
 た。もつと重要なことは党内の大部分の人たちが修正主義者か、反右派であつた。
 党委員会書記 丁一は国民党政府に自首した人たす、この人は1937年
 党の外郭組織 民先に参加したが、これが国民党に破壊されたとき、自分から進んで
 自首したので、先い命をいして他の所へいつ党外へも入り込んだ。1942年
 整風運動のとき、党はそのことを認めた。ところが党中央本部の安子文が徹底
 庇護した。後に彼は順調に出奔して、本撮の党書記になり実権を握つた。
 走資派自身から切り切り者が多かつたから、彼等を庇護し自分の力に加つていつたの
 彼は天馬撮では他の連中と党内にひきつれた。劉路線の重要と構成部分で
 白楊は1933年、北京で党組織を売渡した。そして自ら国民党の者として党の
 革命的同志と捕まへられた。計5名の同志が捕まへられた。

この切り切り者が劉のおかげで人民代表大會委員、協商委員に選ばれた。また彼は切り切り後も国民党の特務組織「戴笠」と連絡をとりつづけた。この事実を書いたものが(或る人が書いた)劉の手に入ったとき、劉は中央組織部が調査する前に(中央が調査するから、こちらは調査しなくていい)と手紙で指示して、安子文自身が切り切り者だから、この調査はナシとした。1956年彼等は自揚と党員に入らう(入党させよ)とした。しかしこの大衆の承認を認めず拒否した。このとき上海市宣信委は映画の仕事を許さず、劉は自分の切り切り行為を認めようとした。しかし彼は認めなかった。その理由として、最初からやりなおして入党と承認を認める必要はない、彼は自分から認めさせた。大衆は党員は反対した。陳伯吹は陳伯吹に指示した。——自揚は当時何も分らないから、今はもう入党させてもいい。しかしこの党細胞はこれでも承認しなかったが、上部機関からの指示により強制的に認めさせられた。そして特殊党員となった。1年後正式党員になるには再び党細胞は反対した。下部細胞の承認は必ずしもこの上からの指示により、強制的に認めさせられた。この二つとも、劉鄧路線の悪さの分り。もう一つの例は、湯曉舟です。1923~1940にわたって彼は日帝、及び蒋介石に奉仕した。彼はかつて「蔣は賢明な将軍である」といった。彼は反動的な軍人で、劉の反革命分子を募集した路線の下で、走漢派から重要視された。彼等は中流派の中でも左翼の人だ、彼は左派だ、という彼自党の中に必ずいる人だ。彼は劉のような人間を党員に入らせたいと大衆、党員と折り合いかうまくゆかないことを長年いちいち、入党証明書の上に書いた。——~~某~~……某は自身、入党の意志をもっていないが、数年来の彼の行状をみれば党員に値する。しかし大衆には強制的に入党させたい印象を与えてはいけぬ。この二つとも、修正主義の切り切りものの哲学路線が具体的に貫徹されたことが分ります。湯曉舟が入党の際、「紅日」を描いていたとき、彼は積極的

毛思想学習分子だった。この二つは妖怪変化がうごめく中で社会主義を証明し上げることは不可能であり、天馬宙は反党、反社会主義の作品を全国で最も多く作りだした。(修正主義路線の作品)舞台姉妹、球迷、燎原、不夜城、紅日、大李小李李志李、その作品です。この二つは毒素は、国内の黒い路線として毛主席と党の指示に反対するものとして作った。ex. 我々の国家には私有制がなくなったとき、右派が攻撃をかけた。それに呼応して「不夜城」を作った。——劉は「排取に力アリ」となった。又ex. 劉が国家の主導権を奪取しようとしたとき、それに相呼応して「燎原」を作った。——劉を英雄視した作品ex. 蔣が台湾から反攻を叫んだとき、それに呼応して国民党軍隊をほめる「紅日」を作った。ex. 至急危機のときに、「球迷」を作ったex. 1960年代、ソ連修正主義を攻撃したとき、この毒素を目的として、国際的無原則善悪を意図した「舞台姉妹」を作った。(一貫した修正主義路線)人民の心でマヒさせるため封建主義の作品を作り、資本主義復活の役割を果そうとした。この二つは一貫して文芸黒線が形成されたのです。この二つは連年の二つは決して偶然では無い。1930年以降一貫して黒い路線を進めてきたのです。党が成立した1921~1937年にかけても、三尺山の文芸作品を作り、抗日戦が続け一貫して蒋介石を稱賛する作品を作ってきたのです。1937年抗日戦が始まると、一部は日帝に走り、また一部は蔣の国策文学、国防映画を作った。徹底的に日帝に奉仕するものを作り、党の統一戦線と妨害し、抗日戦に勝利しつづける。党の主導権を奪取しようとしたことを目ざして。反動派(国民党)が勝利したとき、それに相呼応した映画を作った。具体的には話した通り。「燎原」について。

大 (映画「燎原」作成の経緯)

1960年撮影開始した。「燎原」は1921年の安遠炭鉱斗争の物語で、一労働者のレトリオを基にしている。党の走資派が、李漢年と派選してこのレトリオを完全に書き替えた。1921年前後の世界を舞台とした安遠は、実際には毛主席が指導したものである。

毛主席は当時5回にわたって現地を訪ねて工作した。当時毛主席は雨ガサ一本とたすきで線路に沿って一歩一歩と歩いた。この時毛主席はストライキの便、武装蜂起をかけた。毛主席が自ら指揮して進出した斗争台の物語です。

しかし、この映画は、この歴史的事実を歪曲し、毛主席のことは削除した。劉少奇と安遠の叔父の如く、斗争を平和談判の経済斗争として画いた。

この映画の主人公は劉であり、労働者の運命は劉の資本家と劉の手にまかされていると画いた。原作には毛主席のことが書かれていた。それを夏衍(党中央文化部副部長)が指示をだしてカットした。

原作にはもともと17ヶ所に毛主席のことが書かれていた。それを夏衍が上海にもつ全部カットした。一ヶ所だけ書記局のことが書かれていた。そして劉のことは削除した。ここに劉少奇の陰謀があったのである。

実際には劉少奇は悪い労働者のウイッチャリ者であり、大ストライキの起る前日に連帯から夫人同伴で安遠にやってきて、斗争の重要人物と資本家の労働者の斗争精神に打ち取り取りに焦臭を吐いた。初めはストに反対し、ストが起ると労働者に静粛を要求し自分が資本家に交渉にゆくことを要求し平和ストをした。

我々は、当時の実際のことを現地に調査に行った。劉の正体は分らなかつた。労働者の中には「毒」を吐いた。3年の安遠闘争中一度も労働者の家を訪ねたことはなかった。

毛主席の家も訪ねた。炭鉱にも行った。当時はやつた「毛主席を稱える歌」を紹介してやる。劉は炭鉱所長と結託していた。この炭鉱所長は解放後の世界で、解放後、劉の庇護を以て上海文史館(文物、厂史保護の館)の任事していた。——炭鉱所長... 舒修泰

文革の際、紅衛兵が彼の家を捜索して、金銀財宝を盗むにわたつた。劉少奇と結んだ梁的書が来た。

又、舒修泰は上海の文史館にいたとき、劉に手紙を書き、生活費が足りないことを陳情した。そこで劉は上海市に対し賃上げを指示した。当時のことを舒修泰にきくと、「はじめは劉と仲がよかつた」と云つた。

劉はこの作品と得意が、文芸班に対しこの作品を紹介しろと云つた。また自分がいざかつたら、このストは成功するに違いないと云つた。

この映画には二つの悪がある。
①毛主席に反対し劉と労働運動の創始者、指導者として画き、
②労働運動路線を宣伝している。階級調和論——反修路線をすすめている。

この撮影所の組織、党、作者からみても階級的ウイッチャリは明らかである。つまり党の走資派、反動文芸家が結託してブルジョア反動路線をすすめるのである。この映画を撮るときは、演出家葉明は資本家出身で足が悪かつた。労働者はこの映画の作成に反対した。劉と葉明は反抗したものを農場へ送つた。劉は文革をやらせられた。

労働者に作品の内容を知らせず、政治に良心をもたせまいようにし、独裁化した。

(映画・球迷の撮影)
「球迷」撮影のとき、試写を見て意見を出した。——ホンの売笑婦みだが——それ走資派はムチャな意見を出さうと云つて押しつけた。文芸講話の人民に奉仕する精神を労働者に学ばせなかつた。以前は外国の友人が来てこうして首をくくって話せるかつた。

外国の友人を接待するのは走資派だけかつた。これらの具体的例はたくさんある。
(本稿に於ける文革斗争)

文革前の人員構成

労働者	200名	演出派	12名	平均賃金	
知識人	約400名	編集者	6		170円
計	700名	俳優	64 (男女44)		
		カメラマン	8		
		デザイナー	7		

文革後、大衆とつながる文芸の整理と、大衆運動をかけた。この運動を通じて党のウイッチャリ者、反革命分子を全部肅清した。この世中はブルジョア階級のものがあつた。資本主義復活の基礎があつた。過去10年年来、文芸界は階級調和論に頼りながら、党の反動派と結託して進められた。

大 資本主義復活の議論準備とし、地下グループを形成して活動する。この運動は先に展開
 者 される。打倒の対象とされたものが50社名いる。
 ニ 労働教線と違う要素は、文芸界は30~50年にわたり、いろいろな連中がずうと支えられて
 ニ たからず。
 本撮の党副書記周克は毛主席の路線を堅持した。その陸定一は走資派と語られて周克と迫害に包圍攻撃した。周克は遂に道化士で精神病にかかった。
 毛主席路線の幹部がここに~~お~~も^かも軟化させられた。排斥された。
 今では奪権の革命委員会が成立(67.9.28)して革命派の天下です。500名にわた
 以前誤りておいたものは、よく学習して我々の敵敵の階級にはいさように工作して、
 斗争、批判、改革を遂げるに3です。この文芸界反映の記録映画も作られた。
 革命的京劇も映画にのせよう計画もたつた。打倒しなさい、樹立はごまかい、
 黒い天馬撮影所と紅い東才撮影所に作り上げる。
 たも小人でも偉大なものはできると思っています。

(文芸8ヶ条)……黒い路線
 核心は社会主義国家に於て、党の指導を排斥するもの
 への、創作人に自由を与え、党の指導は演出家に対しては適用せず。
 演出家が自分の中で党員は一人も入らぬと云つても、そのまゝ通つた。

8ヶ条の一文例
 「党の指導は、演出家の創作監督としてはなからぬ」
 毛主席のこの作品にすれば、簡単化、庸俗化、公式化と云った。
 8ヶ条は、陸定一(党中央宣伝部長)、夏衍、周揚が作文し、文が指示したものである。

→ (※) また革命的映画といふのは「南往北戦」も観せてもらったが、
 悪いといふのは勿論だが、これに文革の革命的なところがある。それは、
 その果てに指導したら、芸術者と革命派の作業者^目に完成されたものではない。この一端の
 作業者と云つたのは、~~解~~解の^目はなからぬ。これは、~~か~~か^目からなる。先の日でも、~~い~~い^目と云つた。
 文革前に作られた黒い映画「祭祭」「不視境」をこの時向の向係上見せられたのは
 残念だった。この日は実りある興味^目が、~~多~~多^目撮影所といふことになった。薄暗い

(文芸界の黒い任務分担)
 音楽……賀綠汀
 劇……田漢
 宣伝……周揚 (トロンキスト組織を作った)
 映画……夏衍
 演劇界……田翰笙

(文革の革命的作風)
 南往北戦、平原遊撃隊、~~鶏毛~~^信、小兵張嘎
 江青夫人の指導によつて作られた。

(現在の賃金)

(最高)	金炎 (有名俳優)	360円
	演出家 (普通)	170
	労働者最低	40
	全平均	80

(後記)
 文革といふのは、今次の文化革命である。文芸界での斗争は複雑困難であったよう
 だ。また一朝にはこの節々が革命的なものであると断定もし難いものがある。従つて
 従つて文革がそもそもの根元と云ふ文芸—映画界は、かなりの程度の混乱が起つた。
 当撮影所に於ては、人的な検察が認められた段階で、その作品作成には産んでいふ様子。
 —ステージは木村が加わつた。記録映画も制作された。正統的作風
 はこれから構え、練り始めるというところ。その後も、この観望を主にしようとした。ある
 点、その時は、この映画の教員名は毎日何日何日、と度内から、毎日集団的に
 その果てに討論中といふことになった。給料は全額もらつた。これは、南往北戦の状
 態のようだ。この果てに文革に於ては、教育界と演劇界の共通した困難を生じて
 ありと思う。何れにせよ、生産工場では、目標・視点は明確確から、この果てに
 あり見うた。混乱は
 丁度夕映の中を感涙して抱きしめて去つた。

~~28日~~

~~午前10時 上海空港~~
(上海の印象)

大
春
ニ
ニ
10
お
喜
計
つ
山
1
2

28日 上海 — 南京(経由) — 濟南

~~午後~~ 上海空港から 山東省 濟南市 着
郊外の空港から 宿舎の農村風景は たいへん 畑に残雪がみられた。
夕方に子供たちが 道路で バクチクの音がしり、正月の前夜祭のバクチクらしい。
日本での 祭り騒ぎの子供たちの遊ばしと同じである。

12.30 上海空港 ———→ 着 1.45 南京着 (昼食) ———→ 濟南 着 4.30
祭 2.30

夜は ホテルにて 映画

29日 濟南

A. 8.30 濟南連隊 紹介

P. 3.30 濟南市革命教育会 招待会 王新陽 氏 からの 挨拶

その後 夕食は 招待会

夜、~~入浴~~ 入浴の ^中 野口君 脳貧血の ための 昏倒、一躍 ^{医師に送られる} 全盛 ^を ありつたが
至道異常なし —— パーラキアブル 多量の ための フロア ^{らしい}

〔濟南連隊 一般中隊〕

出席者 連隊長、連隊政治委員、中隊長、兵士 etc. 10名 くらい
主として ^{中隊長} 政治委員からの lecture

軍隊は毛主席指導の建軍路線が確立されている。軍は大至る学校で、政治、軍事、文化、農工を学び、いづれも革命達成に尽くすことが目的。
無敵の毛思想を学ばせられたが、まだまだ十分でない。他の中隊に比べて足りない。
文革内戦を中心として一般の状況について話します。以下四つの項目に分けよう。

(中) 1. 毛主席に対する認識をいかに高め、戦士の思想改造も増進するに努める

林彪は敵である。——毛主席に正しい姿勢をとり、階級闘争、階級民族、村、家の歴史を学ばせ、毛主席の革命に対する全面的に理解せよをうながす。

(昔の ^{苦しみ} 苦難を思い出させる)

各戦士の苦難にみちた家の歴史を話そう。ex. 班長の家は貧農出身で、封建圧迫の迫害をうけていた。1947. 48年の2年間に父、兄、弟、妹が死んだ。その結果にあって母と兄は街を流浪した。解放に勝利して、村もも国家の主人になった。文はは進軍の下に到りて搾取が溢りちいへた。しかし班長の家は血と涙の歴史で、昔の歴史を学ばせ、階級社会に正しい認識をもち、フルシチョフに對し一層強い憎しみをもたせよう。
母界革命と中国革命をやりぬく決意です。新しい社会に育った若者だから古い社会に對する認識が足りない。その五つの志を以てして話そう。

~~自己の苦難を~~

1. 自分の家の苦難に満ちた歴史
2. 新社会の幸せ
3. (偉大な毛主席と光榮が正しい共産党)
4. 母界の未解放の人々の苦しみ
5. アメ帝的な到りての侵略行状

(新入隊者の教育)

1. 毛主席の著作、詩集、パンフレットを学ばせ、
「人民に奉仕する」の講義
2. 古い同志に、いかに人民に奉仕したかの教を話してもらう。

3. 伝統教育

- ・ 光輝の歴史は、毛主席の革命路線の忠節を尽くすことである。
- ・ 毛主席の建軍思想と建軍路線の話。
- ・ 軍と党の歴史発展の軌跡
- ・ 毛主席の革命の実践の軌跡

このことにより、我が軍の数十年の歴史が、左右の旧知見主義と半分のことになり、この教育を通じて、毛主席が我が軍の最高指示であることと自覚がもたらされる。この教育により、新しい人間像の育成を企てる。

克己奮闘を学ばせよ。新入隊士に対し、古い同志は、毛著作と、糸針の袋と渡す。そして履素と表わした展覧会——自分の持ち物、日常生活の所持品、衣服、靴、髪型、化粧、また生活——を展示し、生活面での内訌と立派に通りぬけることは、軍が変色しないことである。家庭（兵舎）、衣服、靴、髪型、化粧、また生活——を展示し、生活面での内訌と立派に通りぬけることは、軍が変色しないことである。

この党、軍の伝統を継承し、発揚させて力強く進展していく。

才2. 二つの路線の教育と指示

(建軍路線とは何か)

この二つの建軍は、政治と軍事と統制の二つである。それは四つのことである。三入作風自身のことである。

- ① 人の要素 ② 政治工作 ③ 思想工作 ④ 生活思想

- ・ 確固にして政治方針
- ・ 素朴
- ・ 精緻
- ・ 団結
- ・ 緊張
- ・ 厳肅
- ・ 活発

軍部はこの二つの人民軍隊に示すことである。

しかし、劉とその軍内部分代理人、彭徳懷、は毛主席の建軍路線の軌跡を、彼等は活学活用、政治優先に反対している。そして軍部は軍事優先と主張し、大規模な隊内、月給制と主張している。更に、彼等は毛主席の著作に反対し、阻止してきたことである。反対に、彭徳懷、は黒い紙を塗り（劉の失言を批判する）党の軌跡を、

しかし、彼等が妨害しようとして、毛主席を敬愛しているが、語録と集めて読んで学ぶ。農村にいたとき、電灯がなかったので豆電球を作った。そして、活学活用した。この一連の政治工作により、毛主席に対し正しい理解が深まり、毛主席の英明な指導がわかる。自分たちの新しい人民軍隊は存在しないことと理解した。そして毛主席を生命と敬愛し、毛主席を熱愛し、愛し、守るようになった。毛主席を身につけ、分析改革して、何よりも毛主席の位置におくようになった。毛主席を身につけ、分析改革して、何よりも毛主席の位置におくようになった。毛主席を身につけ、分析改革して、何よりも毛主席の位置におくようになった。毛主席を身につけ、分析改革して、何よりも毛主席の位置におくようになった。

授業や食卓の中心には必ず最高指示を学ぶようにした。朝起床したとき必ず毛主席の長寿を祈り、そして声を「毛主席万歳」です。先ず頭に学ぶのは語録です。また、自衛隊の教育は労働兵と毛主席を学ばせようとする。中隊の中で政治的自覚を高めよう。良いことだけを行う。革命時に生活管理をする。

紅管筆…… 糸針で袋と管理する——生活をする。

敬孝心紅…… 老いも心は紅い。

……?…… 人助けとして名前を張る——名誉心もたす。

(自分たちの小隊長・田に……)

小隊長・田は毛著作を積極的に学ばせ、積極分子です。彼は学ぶときには問題をもち、即ち活学活用しています。1966年彼は手榴弾投擲の訓練中に、弾がジョンソンの銃に当たった。しかし力が足りず、その弾が隊長の足元を落した。そのとき彼は爆発寸前に弾を身と引いた。三支隊の活動の中でも革命路線に立つた。

また彼は幹部に権威をもち、一兵卒の苦しみも忘れない。節約節儉を旨としている。しかし同志に対しては暖かい人です。幹部に対しては要求をせし、定期的にそれと競争している。党細胞は林彪の「上に頼り、下に頼る」という指示を守り、大衆に頼り、大衆を信じ、二つの路線の斗争に打ち勝ち、毛主席を支持するべきである。文化大革命により、幹部や戦士の思想革命化を早めるべきである。

(この班長に……)

この班長は8年間の、敬孝心、老兵戦士を呼びかけた。1963年に

観—観

満期になったので家に帰ろうと思った。しかし指導部が必要の人物だと認められたので、戦況に決めた。そのとき私は自分の私心私念がわかってきたので、落着いて仕事をやめた。その後はこの問題意識を以って毛思想を学んだ。「全人類の解放に始まるプロレタリア自身を解放するに過ぎない」と毛主席は語っている。世界は階級斗争が激化している。公敵は到る所で横行している。我々は解放を求めている。だから私は、解放軍の一戦士であるから、自分の国際的義務として仕事をしよう。服役には期限があるが奉任には期限はない。と心得た。

活学活用を通じ、認識を高め、①科学実験 ②—— ③——の三大革命の中で、私心を克服し、公に奉じ精神を磨いた。黒い修養の流毒を一掃するよう努めた。同じ入隊した人が4人いるが、幹部は権威を振り回し、心から祝福し、心から指導の甘んじた。

この数年、活学活用して偉大な真理を理解できた。

「大海を往くには舵手に頼る。革命には毛主席に従う」このように生涯革命と逆行し、毛思想を学び、思想改造の努力、義務兵士になることを心に決めた。プロレタリア世界観を樹立するには時間が必要だ。

(斗私批修)

老三編の学習をして私心と斗い、~~斗~~批修を進め、世界人民の解放のために斗い進めなければならない。

世界観の転移は、根本的問題があり、現段階のこの文には、プロレタリアは公であり、プロレタリアは私である。我が党細胞には公を樹立するよう促された。

世界観改造の武器があり、宝がある。この旅は僅かに数日間で全編を暗誦し、実践する経験交流会、老三編不学の展覧会をやった。内容のあらゆる思想に適用する語彙と座右の銘として常に自分の身辺においこむ。休暇前に自分の一日のことで反省する習慣を身につけた。——このことを映画とみよと稱している。

斗私批修の過程において、私は細胞は宣伝、査検、総括、手本、指道、実践をやった。この間の学習を通じて、身は中隊に在り、心は祖国に在り、目と手は世界に向けようとした。決意書(血書)、求教書と手本、ベチューインと手本として国際

主義の義務を果したと要求した。

(没私立公の精神)

私は炊事員になる命じられた。指導部は自分の心の中を見抜いて一歩に学習し、人民に奉仕する中で、完全に徹底的に奉仕するように、と教えた。

私心を克服し公を樹立する激しい斗争が突如やってきました。私は炊事員をやったこと、思っていたことが悔しかった。古い社会に於ける家の歴史を回想したので、鉄砲が人民の側にあったから、苦しみがあったのだ。私が災にあってはに気がついた。毛主席に請いな。他の同志たちと相談かと思つた。炊事も革命のためにやっていることが分かった。

偉大な社会主義国にあり、仕事に貴賤の差はないと理解できた。今後私心と斗い修正を批判し、毛主席の精神を樹立しようと思つた。

老三編の学習を通じて中隊の面目が一新された。

利益を求めず、名刺と誉げはないと斗私批修の結果です。中国のフロンティアは、小なる損を、大きな儲けをするに吹聴している。

老三編は鋭利な武器があり、生涯活用しようと思う。フロンティアの鉄砲と云うが、

このようにやると、ベチューインのメスと云うが、愚公のツルハシと云うが、

斗3. フロンティアの大波の中で、活学活用し階級斗争の観念をもと、世界の文藝に中心と云う。

毛主席は連修正主義グループの教訓を^設取り、この史上最大の文革を行い、M.L.主義の最高の創造を行った。この文革の鍵には、解放軍は左派の大量と支持すべきである。

と指示されたので、三支両軍の活動に入った。軍事訓練と農業支援がその中の任務だった。この活動の中で毛思想を活学活用し、複色鮮明に現れて左派の大量と支援された。

学糧はプロレタリアと革命派、農村でも深い連帯をもつた。

農村では別荘と、大人や子供がバツを履きつて人民に奉仕打紙と贈られた。私達は感謝の涙がこぼれた。大量はいつまでも見送られた。

70支の貧農代表のゲランは貧乏な人民の軍隊だ、毛主席の後継者の軍隊に、

これを心へんいかに思うと云うこと、このように活動を通じて私達は自信を高めた。

(農村支援の話)

毛思想を宣伝するのは、革命路線を宣伝し生産を促すいいことと貫徹するいいこと、貧農、下層、中農と一緒に農業に従事しながら宣伝する。

大胆に大衆を動員し、夜に学習を続けた。

中国のフルシケツフ(劉少奇)の農村における走資政策を徹底的に批判するべくした。各旬は生産を促し、二の鉄の事実がもたらした生産破壊はひどい陰謀を打破した。毛思想を深く人心に入らせるため宣伝隊を組織して活動した。

文芸は労働者に奉仕すべきであるという路線で行ったのだ。

毛思想を辺りな山奥にまで送り、到る処にありかせ、貧農の意欲を起した。

大衆は云々、「毛主席の派遣した宣伝隊に劣らぬ、一句一句が大衆には「アツ」と。農村支援を通じて展開した一人一人が猛将になり、革命と生産の二つの勝利を生きた。

大豊作もえた。昨年比し34%増、66年比で24%増加した。

これは700文革の偉大な勝利です。

激しい階級斗争の中で試煉煉をうけ、自分自身をも高めたのだ。

三支西軍の活動を通じて党の中心に毛の走資派は、最も危険な敵であることが分った。社会主義革命と建設の過程において、依然として階級斗争が存在している。従って階級斗争と戦争準備、政治権力に対する敵意も備わりました。

皆は一層、毛思想を愛し、反右派路線を憎むようになったのだ。

兵隊が最も偉大に崇高な愛とは、大衆の毛主席に対する愛であり、兄弟の愛は平等目があるというところが分りました。

実践の両方から理解を深めるといふ努力をした。

「人民は我々の組織した反動派と共闘して打ち倒す。木ウキが腐らぬやうな役等は一人一人に逃げさせるべきだ。」と毛主席は教えた。

今、この中隊は全国どこにも偉大な配置に、二つの路線の教育をこの中に行っている。

私は3つの出版物と、黒板と使った。彭徳懐、羅文卿にたいして徹底した斗争を行っていた。最近も毛主席は新しい戦略指示をした。これはいかりと付く。実行は700文革の全面的勝利とあわせて進んでいく。

才4. 若いインテリと労働兵の場合について

解放軍は大ニ学校にある共産主義人間の道場である。新入兵はみんな若いインテリの同志です。いかにして彼等を鍛えこぼさねば。

毛主席は、我々の隊列の中のブルジョア思想とブルジョア的軌道に導くことを免じなければならない。教える。新しい共産主義者、革命的精神と他人にたいして教育する。

(私の体験から)

私は8歳のとき学校に入り17年有学校にいた。長いブルジョアの教育の影響は、労働とブルジョア思想が身についていた。中学のときは医師になろうと思っていた。1966年高等中学を卒業して、学校側は軍事高等学院(士官学校)に入学させた。

当時私はそれより思っていた。人民解放軍は毛主席が率いる軍隊であり、光栄だと思っていたから。それと、軍事学院に入るのだから将来は高級将官にならうと思っていた。

即ち名利の思想も思っていたのだ。

毛主席が批判するのは、軍事学院はダメなところだ。偉大な毛思想の赤旗を掲げろと叫ぶのだ。また彭徳懐、羅文卿の陰謀のため軍事への方針がたつたので、自分は本と読み技術師の免許を取るとは思い思っていた。修理士に専攻科が変わると楽しくなつた。

学習にも身がいらずブルジョアの個人思想になつた。このとき雷震峰同志の高言が私に自分と利欲した。彼は自分は同じ年だが何故か自分と違っている。

これは雷震峰が毛著作を注意したからだ、と考へた。このとき革命戦士として毛著作を学ばねばならぬと考へた。光り輝く毛思想が私の全身を照らしたのだ。私の航行と正して

かたのだ。人類の救星毛主席が私に指針と示してくれた。

毛主席の教は最もレベルが高く、威信がある。一句一句は寸句に当り、と林彪は云々。実践の中で学ばつた私は変化していったのだ。以前は困難をこえたが、世界の心配

よになり、また個人のことはたが、公のことは考へておこなうようになった。

実行は困難なもので、数年を全うしてこたえてやつたのだ。まだ不十分だが今後とも努力していきます。

私は労働の中に入っていかに思想改造をしたかについて話します。1939.5.4毛主席は青年運動の中で云々云々云々。青年が革命的デモクラットの労働に対する見方が革命的デモクラットの力カカツテイル。また1957年宣伝工作會議の

席をいじりながら、——マルクス主義が学ば、労働大衆の中を始めて学ば、
私は小から学校には入りつた。周囲は知識人は入りつたので、根本的に改
造された。マルクス主義の本は読んだが、深く改造されずに古いままである。
自分の世界観を根本的に変えるには、工場に、農村に行かねばならぬ。
毛主席の教を遵守するため、この数年労働者に行き、宣伝していたが、大衆の中には、この工作
を通じて自分の主観的観念を改造した者が、

(農村工作について)

下層農民との接触を通じて、いかにブルジョア思想を改造したか。
まず第一の問題は生活に馴れることである。
食事をしたとき、パンや肉が雑草の中を採って食べた。おれは「どうしようか」と
迷った。しかしおれは食べることが出来た。おれは「どうしようか」と
迷った。しかしおれは食べることが出来た。
改造された知識人は労働者や農民と比べて労働者がずつと多かった。——と毛主席は教えた。
汚いというだけで嫌がり拒否することは、労働者や農民と深く繋りと樹立していかねばならぬ。
その心は汚いのが思想は立派だ。
その後慣れたことで思想的感情が変化していった。教育運動をやった所は文化工作が低いところだ
つた。キョーザが不味いので食べなかった。これは多く食べれば彼等と近づける
にあり、これは彼等と近づけることである。大晦日や祭日にはキョーザを食べる習慣
がある。これはおれは視つた時に作つたキョーザだ。これはおれは全部食べることが
できた。以前は彼等と食べることが出来なかった。これはブルジョア思想だ。そのことを出来
たものでも多く食べることが出来た。皆喜んでくれた。これは思想改造のツツだ。
肉を食った思想が染み込んで一気に反撃に。農村の階級斗争は激しかった。
回清工作隊の一人が敵に刀で傷つけられた。おれは見た。そして緊張してつた。
つた。このときおれは「人民に奉仕する」に学ばされた。大多数の人のことを考えれば
別に立場を争う必要はない。——実際に戦場が激戦区に陥つた。おれはベトナム等に学ば、死は快か
と自分から死を覚悟する努力をした。
その心得がこれだ。

(貧農下層階級に学ぶ)

行く前には自分も学生と考へていた。しかしおれは知識もなし、鈍いし、おれに比べて学生は
余りなにかと思つた。しかし彼等と接触して、その考えを棄つた。
彼等は最も社会の力の中心を知っており、雄弁家としての、毛主席を熱愛しているのは最高だ。
彼等は立場がはっきりしており、農村の反動路線と断固として闘つてきた。
「三和一分」「三自一包」を宣伝していたが、彼等は自衛地を造り、解放軍に渡した。
自衛地(自由地)を造ることは資本主義の尻尾を踏んで来た。——集団の利益を固
めて貧農の利益を守ることをたてまつた。
新中国の貧農はこれに毛主席の指示を守ります。然しおれは「どうしよう」。
おれは自分の考えが小さかったことを思ふ。
戦時中何事かおれは「いよいよ」だ。おれはよくよく、おれは住んでる家のパンや肉が「富農の奥
を伺つていた。貴方は普段はよくよくおれに話して、おれと一緒の道を歩かせるのが
ない。おれは益もいした。——おれは心を入れかえたい。おれはこれに住んでおれから、
解放10年来、地主も土地も持つておれに話して。普段口では階級斗争を言
つておれから、おれに斗争がおれのおれから。——おれは貧農は日金。
激烈に復讐の階級斗争の中で、おれは貧農たちと比べるとおれに話して、
生活に於ては彼等は強者だ。朝早くから風雨の中でおれ作業して。
おれ取り入らぬと最もおれに話して。英明な毛主席の指導なく労働の
肥料なく、解放軍が国防に努めなければおれの豊作はない。だからおれの最もおれに話して
捧げるのです。自分の生活がよくなるばかりでなく、労働人民の革命も支援するのだ。
おれは彼等が高度の社会主義の精神をもつておれに話して涙を流したものだ。
彼等の階級斗争の思想が、おれも毛主席に忠誠を尽くすように思ふ。
おれの任務は重く、夜遅くおれは、朝は一緒に農作業に頑張ることを堅持した。
「仕事は斗争だ」とおれは、困難を解決するためにおれに仕事をいかにやるか、おれは話して学ば
した。ベトナム等に学ばされた。
貧農下層の運動をおれは、いかに限りの力が消えたものつた。おれは彼等とおれ
誠心誠意、仕事に力を入れるおれは、何もおれに話しておれに話して。
おれは住んでる家のパンや肉は、おれはよくよくおれに話して、おれは話しておれに話して。

大
え
ニ
ニ
/
x
え
だ
-
ム
/

私も賄いでは家事の手助けをして本當の親子の太い関係がした。また版をみて、彼等と
訪ねし本と読んがやよと、今は古い時代の苦しみと階級斗争を教えてくれました。
共に食べ住むことにより思想改造は一段と進みました。以前は黨を嫌がったが今は
愉快にその仕事ができるようになった。彼等の両手が社会主義を築き上げたのだと嬉しい
がよく分ったのだ。

私は体が汚れたが思想は以前よりよくなり、心は落ち着きました。
農村での半年間、書物では分らかった主席の思想を改造する事ができた。
こうして私は偉大な共産党に入党する事ができたのだ。今更にあつた道と振り返
つてみると、一ツツが偉大な毛主席の教えたことが分ります。
毛主席才学、才学。私は毛主席の長寿を心から祈ります。

('農村工作における結び——总结)

オ1桌 —— 毛主席の教えた最も正確な真理であり、 労農大衆と結合するは革命戦
争年の前進であり、また思想改造の前進であり、革命の精神を永遠に保持するた
めのものである。

オ2桌 —— 学ばば知識人が思想改造する最も大きな教室がある。 労農大衆は
知識人の思想改造を檢定する最も公正な教師である。

大衆に対する態度は、彼がマニニ主義の立場に立脚 ⁽¹²¹¹¹¹⁾ ~~する~~ ということに分る。

またマニニ主義と修正主義の分水嶺がある。

オ3桌 —— 外来からの条件の下では思想改造はブル思想がいつても反復する可能性が
ある。永遠に毛主席の教えたもいつても補え、矛盾を運び、これを活用するはいつ
のみ、これを防止するはいつても。

以上のことは知識青年が思想改造する根本的の問題である。
我が中隊には毛主席の指示に従ってこの革命の嵐の中に、思想改造の役割を果して来た。
今後とも毛主席の偉大な旗を高く掲げ、文章の大波の中で練えて 世界革命と人類解放
のために前進するつもりです。

(メモ)

• 兵役制度 1955年からは志願制
56 以降義務制 —— 18才 ~ 22才まで。
軍格の資格検査があり、4.原則として下層
中層階級出身の子供など。
中堅幹部は長期兵役制度を採用している。

• 軍団の指揮と党の関係

(1) 党委員会の集団指導と各首長(軍団長)の責任指導制
(党細胞組織)
中隊で支部 中隊の集団討議を経て、首長(中隊長)が業務の実行に衝る
小隊で小組

(2) 政治工作員制度
(党委員会が工作員を各級に派遣)
師団 —— 政治部が ~~設置~~ 設置している (この部長は中-政治委員)
連隊 —— 政治委員
大隊 —— 政治指導員
中隊 —— 政治指導員
このように、上級下級枝角を通じ、党中央からの指示が完全に遂行されるのを保障

• 彭徳懐、羅瑞卿は一長制 (軍団長の責任指揮) を主張した。

• ~~師団は~~

• この連隊は、この地元の文筆に参加したばかりでなく、連隊内の文筆も行った。

〔山東省 済南市革命委員会 常務委員 王新陽の話〕

P. 3. 30 から 2 時間. 済南 迎賓ホテルにて.

4 年前 毛主席は日本人の愛国主義にほめて談話を発表した。これは記念す。
「日本人は偉大の民族である。アメリカがいつまでもその領土に居るのを許さなければならぬ」
皆工人が、中国人の友情をたずさえて帰国することを心から祈ります。

〔山東省に於ける文革の一般状況〕

我々の思想路線における主なものは修正主義に対する斗争を展開するにあり。
現代の偉大なマルクス主義者毛主席に於ける指導されたこの文革は、更に深まったプロレタリアの革命である。この一年向余の間に毛主席の革命路線の下で天下を覆すような様相をみせた。文革は党内の反動司令部を打ち壊し、その代理人をつきみだして、その力を弱めさせた。同時に各界において四つの古いもの、^{環境} 古いもの、^{思想} 古いものを打ち壊し立てた。この文革を通じて毛思想の空前の新しい高潮が起った。工場、学校、農村、枝角、家庭の中にまで文革がはびこり、その表の一面として皆工人は毛語彙を手にしている。
とにかくこの文革は空前の革命斗争であり、資本主義復讐と打倒し共産主義の決定的月玉利への道がある。文革の理論や形式に於ける皆工人既に学ばれたよう。
山東省及び済南市の文革の状況を説明しよう。
1965年の冬から66年8月にかけては初期にあり。
まず文化関係では10年年来毛主席の指示をうけていりせんが、
文革では労働者の地位は高く、妖怪変化と~~異い~~ 異い話に上げられた。ホニコニ映画などが一部上映され、毛主席の文革路線に反対して来た。
65年冬から66年上半年に於ける三派対立の斗争が起った。
文革が起ると中国のブルジョアは、毛主席の文革路線に反対するために学術論争に内閣をひきこもうとした。しかし当時では文化問題内部での論争に終って大衆の向にははびこりなかつた。
66年6.1 毛主席が北京大学の一枚の大学報を放送することを決定され、このときから本格的

的文革が開始され、党の走資派への批判に向けた。
このときから山東省でも、工場、学校、~~など~~ 大学報などが使って斗争が走資派に向って行われた。
革命的な大衆は一方向は走資派に斗争を向け、北京の紅衛兵の結成と同時に、山東省でも紅衛兵が組織された。古い封建的の線がこぼれ落ちるものをコンパニオンにした。
このときから大衆運動と紅衛兵運動がともに大きく発展していった。
しかしこのときから走資派はドギモエおかし、猛烈に弾圧していった。文革の勢が激しいので大衆、紅衛兵少将を弾圧した。ブルジョア反動路線を打ち、息のあった連中を工作隊として工場、学校に派遣してこれを静めようとした。
毛主席が規定された大衆路線は、①大衆に頼り、②創造性を発揮させ、③自分で自分を切り出すことである。
中国のブルジョア劉少奇は、これを無視しようとしたのである。

〔反革命の策謀の抑圧〕
〔文革初期に於ける斗争の打倒〕

- (1) 工場、学校、紅衛兵が早くあつた。その病院では、660名の従業員に反対し、工作班を120名も派遣し、主導権を握つた。その結果400名も人が批判され、40名が反革命とされた。しかし本当は、そのうちの多くは反党、反毛路線を摘発したために反革命として決めつけられたのである。
この一連の工作班の派遣が、彼等の反革命の弾圧であったのである。
- (2) プロレタリアを逆用
彼等はプロレタリアの道具を使ったのである。公安局や法制部内を動かして情報網を広げ、学生が書いた大学報、マシガッパで軍隊に送り反革命としてこれを摘発しようとしたのである。
- (3) 紅衛兵運動の中に保守組織を作ら
走資派は紅衛兵運動の中に自分を守るため保守組織を作つて文革をくいとしようとしたのである。紅衛兵は毛主席が公認したものであり、彼等は到る所にかけつけて文革の波を押し広げさせた。これに対し走資派は、一部の大学、中学の子弟を集め、秘密組織・紅衛兵師団を作り、走資派を守り革命派を攻撃する分裂組織を作らせた。この紅衛兵師団というものは、山東省済南市革命委員会が秘密裡

に作り、腐敗、財政面で援助を与えた保守組織で、親等の大部分は共
幹部の子弟だった。

走資派は言った。「省サハ紅五里ダ、カエルノ子ハカエルダ」

その学生を騙し、彼等ハ山東省革命委員会一党して正しい、と云って、彼等走資派
の棄権をくりぬけおとしたのです。

(4) 批判の矛先を他に反らせせようとした。

当時北京では紅衛兵運動が起り、~~姓王~~王将、地主、反動分子を一掃したの
です。これは革命的なことであり、都市を整理する上で有利であったのです。

山東省では自分たちに造反して立上った学生、宗族に対する残虐な弾圧をしたの
です。それはその立上った人たすを摘発して、特にその中にいた権取階級に属
した人たすに矛先を向けて、自分への矛先を反らせせ、その人たすを農村へ送つた
のです。他の主な大都市の状況も同様でした。

また白いテロが起っていたのです。従って造反運動は次第に下火にな
っていきなりました。この大衆を弾圧する反動路線は、劉、鄧路線が組織的
であったのです。

そのとき毛主席は「8.11通知」を出し、総司令部(反動派の)を攻撃せよと命
じた。これはもう紅衛兵大衆は大いに勇気づけられた。

66年8月に催された11中総は16ヶ条を公布し、革命の大道を照らした。この
のときから大衆は立ち上って斗争の目的を反共と見做す走資派に向けた。

(山東省に於ける大攻勢の特長)

山東省では66年8月から起りなりました。このとき三つの特徴が表れた。

(1) 大字報が流行に起りなりました。

それは劉が制限を設けていた。国内では国外への果敢な攻撃が大きいとして街頭
に貼ることを禁じられていたのです。——戦場の場合に限定されていた。

(2) 労働者組織の結成

紅衛兵は全山東省で連合組織——紅衛兵山東指揮部——が作られた。

労働者も同様の組織を作った。——山東省革命労働者組織部。

文革運動の陣面に労働者があがりなりました。これは過期的なことだ。

(3) プルジョア司令部の全面的荷壊

末端におけるプルジョアの代理人が死官となり、プルジョア側は全失した。

総じていざこの時期は左派が延びて右派が退却し、山東省のプルジョア反動派も滅
亡に瀕していた。

革命の大衆は各系統別に派の分立したものがありました。

一つは真に造反のグループ。——工場、文化、学校のものだった。紅衛兵もその一つです。

もう一つは真向から対抗して来た。

しかし、この二つの派瓦解された。反動路線は後退したのです。

(反動派の最後のあがき——その三つの手段)

毛主席が指摘するよ様に、アノ帝の反動派も中国の反動派も、だてに工場から引き下がる
ことは出来ず、その最後のあがきをしたのです。新しい情勢の下で三つの手段が採られた
のです。

(1) 革命に力を入れ、生産を促すという名の運用

このスローガンを利用して、生産を促すことを特に強調して職場を守りなると革命の大衆が
至願交流(主として主要都市、北京などで行われる)に行くのを阻止しようとした。

(2) 経済主義と見なして労働者を欺騙した

労働者は立上ったが、資金をアツクしたり、至願交流の費用、造反に依る自動車提供
などの手段で、走資派と批判的斗争と鉅らせようとした。

或いは省、市の委員会が居座り支持してのどどと大衆を欺いた。

また臨時工場の資金問題と見せ、原則(規定)を無視してここに資金アツクのサイン
をとりなると懐柔策を採った。

(3) 自己検閲のゴマカシ——亮相

反動路線が暴露されたのはこのため。彼等は偽の自己検閲をして一層大衆を欺し、真の
革命派を弾圧しようとした。

紅衛兵の少将と革命労働者は、時と移さずこの正体を見破り、まず生産を促した。——眉内
は喜んで生産に従事し、逆に造反の交流をやった。

劣者革命軍兵と交流をかりながら運動を推進していった。

1917年革命大衆に押されて、校舎の幹部も造反を行つた。
省・市の幹部も社会に下つた。これは「革命の課程を自己批判した。」

1917年三語会が打ち止りにつた。

反動派は、花木村「三一包」「四大自由」を主張したが、徐徐に孤立した。

1917年10月——66.8~66.12に到るまで「反動派の粉砕」の方向にすすんでいく。

(夺权斗争の段階)

革命は政権の夺取に終つていく。

文筆斗争から反動派が世大衆と距離を置く。1917年大衆を圧迫する「反動派」の
政治的方針が走資派の手中にある。これは「反動派」の「奪権」の「反動派」の
方針だ。

上層の劣者から奪取した。経済主義の権勢が風を起した。大衆は「革命」の
上層の劣者の「奪取」を、全国で「反動派」の「奪取」した。

山東省の「主」赤島が「反動派」の「奪取」した。1922年に王「同志」(副市長)の指導の下で、
財政、行政の権力を奪取した。青島市の走資派は「追害」を王「同志」に与えられた。

学生、労働者も支持した。1922年奪取を宣言し、中央が承認された。

(濟南市の奪権)

1. 1924年山東省革命軍、紅衛兵、文芸造反指揮部が「八つの建設」を連合して奪取を宣言し、
2. 山東省、青島に「利権」を奪取した。臨時政府が「建設」した。王「同志」の革命軍

省の中心に濟南に集つた。(中央が「主」を主席が直轄した) 2~3日、省の大衆を奪取

した。これは「建設」した。協定の走資派は「悪辣」手段で「革命」の幹部と「劣者」を

悪く使つて自分保護する「劣者」を「悪」親分を利用して、自分たちを保護する「劣者」の政

策。山東省の山東省毛沢東主義「紅衛兵」の「悪」親分を利用して、自分たちを保護する「劣者」の政

策。山東省の山東省毛沢東主義「紅衛兵」の「悪」親分を利用して、自分たちを保護する「劣者」の政

策。山東省の山東省毛沢東主義「紅衛兵」の「悪」親分を利用して、自分たちを保護する「劣者」の政

策。山東省の山東省毛沢東主義「紅衛兵」の「悪」親分を利用して、自分たちを保護する「劣者」の政

策。山東省の山東省毛沢東主義「紅衛兵」の「悪」親分を利用して、自分たちを保護する「劣者」の政

策。山東省の山東省毛沢東主義「紅衛兵」の「悪」親分を利用して、自分たちを保護する「劣者」の政

策。山東省の山東省毛沢東主義「紅衛兵」の「悪」親分を利用して、自分たちを保護する「劣者」の政

策。山東省の山東省毛沢東主義「紅衛兵」の「悪」親分を利用して、自分たちを保護する「劣者」の政

策。山東省の山東省毛沢東主義「紅衛兵」の「悪」親分を利用して、自分たちを保護する「劣者」の政

策。山東省の山東省毛沢東主義「紅衛兵」の「悪」親分を利用して、自分たちを保護する「劣者」の政

策。山東省の山東省毛沢東主義「紅衛兵」の「悪」親分を利用して、自分たちを保護する「劣者」の政

策。山東省の山東省毛沢東主義「紅衛兵」の「悪」親分を利用して、自分たちを保護する「劣者」の政

策。山東省の山東省毛沢東主義「紅衛兵」の「悪」親分を利用して、自分たちを保護する「劣者」の政

策。山東省の山東省毛沢東主義「紅衛兵」の「悪」親分を利用して、自分たちを保護する「劣者」の政

策。山東省の山東省毛沢東主義「紅衛兵」の「悪」親分を利用して、自分たちを保護する「劣者」の政

策。山東省の山東省毛沢東主義「紅衛兵」の「悪」親分を利用して、自分たちを保護する「劣者」の政

策。山東省の山東省毛沢東主義「紅衛兵」の「悪」親分を利用して、自分たちを保護する「劣者」の政

策。山東省の山東省毛沢東主義「紅衛兵」の「悪」親分を利用して、自分たちを保護する「劣者」の政

策。山東省の山東省毛沢東主義「紅衛兵」の「悪」親分を利用して、自分たちを保護する「劣者」の政

策。山東省の山東省毛沢東主義「紅衛兵」の「悪」親分を利用して、自分たちを保護する「劣者」の政

策。山東省の山東省毛沢東主義「紅衛兵」の「悪」親分を利用して、自分たちを保護する「劣者」の政

策。山東省の山東省毛沢東主義「紅衛兵」の「悪」親分を利用して、自分たちを保護する「劣者」の政

策。山東省の山東省毛沢東主義「紅衛兵」の「悪」親分を利用して、自分たちを保護する「劣者」の政

策。山東省の山東省毛沢東主義「紅衛兵」の「悪」親分を利用して、自分たちを保護する「劣者」の政

策。山東省の山東省毛沢東主義「紅衛兵」の「悪」親分を利用して、自分たちを保護する「劣者」の政

策。山東省の山東省毛沢東主義「紅衛兵」の「悪」親分を利用して、自分たちを保護する「劣者」の政

策。山東省の山東省毛沢東主義「紅衛兵」の「悪」親分を利用して、自分たちを保護する「劣者」の政

策。山東省の山東省毛沢東主義「紅衛兵」の「悪」親分を利用して、自分たちを保護する「劣者」の政

策。山東省の山東省毛沢東主義「紅衛兵」の「悪」親分を利用して、自分たちを保護する「劣者」の政

策。山東省の山東省毛沢東主義「紅衛兵」の「悪」親分を利用して、自分たちを保護する「劣者」の政

策。山東省の山東省毛沢東主義「紅衛兵」の「悪」親分を利用して、自分たちを保護する「劣者」の政

策。山東省の山東省毛沢東主義「紅衛兵」の「悪」親分を利用して、自分たちを保護する「劣者」の政

策。山東省の山東省毛沢東主義「紅衛兵」の「悪」親分を利用して、自分たちを保護する「劣者」の政

策。山東省の山東省毛沢東主義「紅衛兵」の「悪」親分を利用して、自分たちを保護する「劣者」の政

李文忠

解放軍兵士。67.8.19 長江にて紅衛兵、造反派と輸送任務遂行
渡船が沈没したため、その救助に我が命と并進して当った。
人民に奉仕すると文字どおり戦もした。

山東省対外友好協会

黄国良

二人



大阪城大手門前



30日 濟南 — 北京 (旧曆大晦日)

午前 李文忠 記念展 不公会 參觀

午後 1.45 発 濟南空港 → 3.10 着 北京空港

今日は旧曆の大晦日。

中国ではいわゆる正月の生活の風習は旧曆による。日本の地も全く同様。
10日小りに帰る北京は心細い。不思議に北京飯店は我が家に帰ったような
気分になる。食事は日本人が覚えているくらいで、
給食の給食 又待ててくれ。

食堂では食事前、ビール、洋酒など飲みたは、いらいと好ま生手に——「グググ」——飲ん
でいらいと、この団員は酒が大好きで、いらいと嗜むらしい。

松本代は強いのが、肝臓手術後で薬行手ではダメ。野口君が少し飲んだ程度
平塚君と小生は全くダメ。今も今朝の晩餐は、大晦日でもあり、松本の
帰りを祝って——と、これもこの10日間の学習で中国を理解し、実り多き満ち足りた年
の初ビールで乾杯。

思えばこの10日間は日夜学習の記憶が楽しくはあったが、緊張がたつて少し
寝不足もあって、この正月の初日は休養と兼ねて、少しのんびりマキのせいので、つ
つとつとに落ちて、爆竹の音がいつまでもに響く。
今も少し望郷の念も強く、

部屋は従来の通りの室のりりり、黒田代と同室、大通りに面した3階の部屋。

31日 北京 (旧正月)

旧暦元旦日の外文学会の人たちも休養日。

午後一同も全くの安息日とした。ぽろぽろ近所にも散歩にでかけた。
街に幼女たちの晴着——赤い色が目立つ。何となくお祝いの気分。
夜7時、西園寺公一氏宅訪問

前から約束はあった。気さくにいらして「おはよう」で宿を留めてくれた。

一人暮らし。室には骨董品の壺や置物がずらり。中国では壺の遺物は嫌がるが、
古い壺だとそればかり集めておられるよ——とか話していた。

二時頃頃日本のは。中国のは……あ、これは話して退却。

北京空港事件——アハハ記者北京駐在員2名が帰国する際、空港に在る日本
が暴行を及ぼしたという事件にたいもその真相をまく。

2月1日 北京

10時。前進座と長河原崎長十郎さんと懇談
A. 前から前進座と逢わぬ北京で静養中の河原崎と、倉堂がいつも一緒にいる。
人々のそよぎの笑顔が接してくる。
始めは、宮子端麗がニヤカな紳士が近くの席にいて、倉中と梁(石大)の中
りして、どこか見かけた人かと思っていた。
それと一度話をきかせて下で、というように、
最初はお互い何となく話して、
いゆんや、河原崎先生は、長年歩み育った前進座と、
暮らして身が、
果ては、
純情な人格で好人気分。

P. 3. 人民大会堂 参観

日本の就事堂が、その会堂の中には、
た。1才人の座席があった。その他中国全土の
特産品——例えば浙江省は杭州の竹で作った美術品、
彫刻品で、浙江省の、広西の、
1室 100坪ぐらいの大きさで、そこで「
日本の就事堂をみて、井の中の蛙」とは、
その国力の差を感じる。

2日 北京

明の十三陵へ

今日は正月だし、気軽に遠出で12時17分10分半時までかけてしまふと11時

り、外子学会の人たち5名と車4台に分乗して出発。

行先、北京郊外のダム、万里の長城、^{明の}十三陵地下宮殿。

子供時代の絵本でみて夢みてきた万里の長城を目にしはきは感無量

と限みるに続く山々の涯まで拡大にうねり物と長く長城のコーナー

城壁、そこに人類の歴史の跡を滑り込みし思いがした。

城壁と馬を駆け登る。金さんが、一歩も二歩も登ったときには、あの大きな

鞍がつかつかつ、鞍の紐がハダシで登った人です、と感慨がその思いを

話してくだ。

明の十三陵地下宮殿は数年前、その発掘から出現を方々の記録映画でみて

たので興味小かつた。

一陵が一つの山で、その山とみちにまきながら、となくその陵の大きさは日本

想像以上だ。

とにかく、今日は楽しかった。夕ぐせの北京の街並みに帰ってきた。

夜、金蘇城さんから lecture に行く。

2. 党の下部組織はどのようか

P. 7. 30 [金蘇城先生 lecture]

・最終の中央委員会
中11回 委員 156名
委員候補 150名) 計 約 300名

・解放斗争における党と政权との関係
新民主主義論 —— 党、民主党派、国民党

・指導 (共産党) と被指導 (政权)

・中央委員会 —— 政治局 —— 常務委員会 (11名) —— 各部分

・国务院 —— 各部 (その中に各々政治部がある)
委員は 實際上、中央委員会と国务院の各部を兼任している場合も多い。

・市 …… 市委員会 (責任者は 書記) …… 党の権限
…… 市人民委員会 (市長と書記) …… 政治権力
・書記と市長も兼任の場合も多い。

・劉少奇 国家主席の選出
1959年、2期人民代表大会で選出

(刘少奇 内題)

必境——資本主義の道と社会主義の道とを比較する。……北京週刊、刘少奇に送付した認識論——語彙P. 284に基本認識論を、病を治して人を救う……の観点に立ち、別冊を刊行した。

① 1946年の毛、蔣重慶会議の際に、武器放棄論を唱えた。

② 抗日戦に勝利した後、刘夫人、王、李、黄は、「毛沢東本邦工場建設」を刊行した。

③ 新民主主義の秩序を主張する……毛主席は「人民民主主義独裁」を指示した。——資本主義制限の批判

④ 合作社の運動の際、200,000を否認した。

⑤ 社会主義教育論争の際、末端幹部を批判した。

⑥ 700文庫に示した反動路線の提唱。

⑦ 毛主席の期待を違わなかった。

⑧ 刘の思想を正すことが、遂に出来なかった。

……毛沢東の万史の事実を振り廻して、水戸を分した。

(国际主义運動のニツク路線)

ソビエトに20回大会——平和進行の革命方法を提唱(社会制)した。

・オーストリア、ルーマニア事件
・国連軍に遺言「彼も二役も負った」
・中国の海軍太平洋に連合艦隊を編成して、中国沿岸を支配した。

1960年のソビエト合計

中国攻撃のCommunistの強要、
中国と中、ソの経済協定破棄は技術界の中国からの引き取り、ソは石油の引き取り、
ソは行方、ソは中国を屈服させようとした。

・借款——主として朝鮮戦争の際の——の至急返還を督促した。

(困苦の中完全な非経済)

・世界各地での民族蜂起を弾圧した政策を遂行した。
——一袋の銃声は100袋の銃声を呼ぶ。100袋は大隊を呼ぶ。

・ソビエト米、ソ連間にある右界の二大支配を企てた。
——平和外交政策

・ソビエト、その米国の取引の種として、後の援助を打てた。……ソビエトは、
ソ連中国にも直接介入した。

・現、昆明にソビエトの援助と飛行場の建設を要請し、ソ連はソ連——昆明、
の空中廊下をソビエトが提案した。

・結局、古くからソビエトの援助にソビエトが、朝鮮戦争の際にソビエトが、
即ち国際的宣伝の場の芝居を打った。ソビエトは国際援助とは全く異なる

果了。

(ソビエト内境内題)

ソビエトが内境の政治的危機を、ソビエトはソビエトに、中国一時的に国内
混乱を有利に利用して、ソ連を弱体化させた。

・ソビエトはソ連時、ソビエトへ軍事援助した。……ソ連はソ連主義国とソ連が、
ソ連を、ソ連は、ソ連のソビエトにソビエトも多数の援助をソビエトに与えた。

・ソ連はソ連は、ソ連のソビエトにソビエトも多数の援助をソビエトに与えた。
ソ連はソ連は、ソ連のソビエトにソビエトも多数の援助をソビエトに与えた。

・ソ連はソ連は、ソ連のソビエトにソビエトも多数の援助をソビエトに与えた。
ソ連はソ連は、ソ連のソビエトにソビエトも多数の援助をソビエトに与えた。

人民の目には「修正主義」として統一戦線と見做されるが、
我々には「修正主義」として見做される。

(日共富本派)

自分の党の修正主義に反対する「修正主義者」は、修正主義者として見做される。

3日 北京

午前、外交学会の人たち20名ほど(若くは50代)と打ち合わせ、
「北京の外交学会」として「総務会」を組織し、お互いに協力しあう
形式の「ヨロユキ」自分たちが「座長」を組織し、各々が「座員」として
活動する。本学会は「北京の外交学会」の「大衆的」な組織である。
一方、我々の「北京の外交学会」として、無条件にあるだろう。

4日 北京

解放军 (天津の楊村) 訪問

我々がもう一度解放军を訪問したい希望と、外交学会へ行って、解放军というものの認識を日明関係に与える必要あり。急に本来予定に与りた17日訪問が可能。今日の訪問は、11月1日入管の日に待て。期待して訪問する。

(1日入管の日付)

1. 干部との経路交流
2. 中隊の住宅、クラブ参观
3. 昼食
4. 歩兵中隊の精米工場、機械修理場、倉庫、シン(社服修理)の場の参观。
5. 宝弾射撃、手榴弾、木銃判教訓練参加
6. 毛澤東宣伝会(寸幕、奇多のラゴラシム)参观
7. 参观の总结

〔陸軍第196師団〕 訪問

天津市郊外 楊村

政治部長(連隊) 丁重の訪

(本師団の光榮子弟史の成立)

山西、9月、湖北省の遊撃隊がその前身。1937年抗日戦の初期に224、小→大、弱→強。小隊→中隊→連隊→師団と成った。解放後師団に3つ強隊した。軍工廠、8年間の抗日戦を通じて、陳莊、董莊、娘子軍の3つ戦役のみ。黄土嶺戦で不可部隊を撃つと打たれた。黄土地の解放戦の期間に七次と戦い——石家莊、太原、平津——の戦役が3年間の解放戦の期間に三大战役の一つ。2022年3月界40万、天津50万と成った。

朝鮮戦争は朝鮮に行き、黄土地から38度線、1950年10月に出た。これに、帝国主義の野望を打たれた。戦争で

この戦いでは 38,000人 ^兵 8,800万の銃。200万の大砲を破壊 (戦場の破壊は甚大) 敵の長、敵は通って、我々の血を流した。武装による政权の夺取。毛主席は教える。—— 銃砲から政权が生かす。

この戦いは Proletariat 政策の下で、農村において農民大衆と戦い、都市では土地改革、都市の包圍、そして都市の夺取へと進んだ。二重権力社会の Proletariat 人民の獲得は、都市は包圍して毛 ^{主席} を支持する。これは ^{必要} である。

中国革命と世界革命を通じて文了せば、Proletariat の政权夺取の後、長期間に及ぶ戦いである。同じように、革命の信念を失うことはあり。これは "Proletariat" が持つべき。全くと失うことはあり。毛主席は、これら、—— 政权夺取は偉大の長征の第一歩にすぎない。—— と教える。

(修正主義の防止) ¹² 修正主義の防止

ブルジョア的個人野心的が党の指導権を握るおそれがあることを警戒し、
彭徳懷、羅瑞卿は修正主義の防止に注意し、その警戒する。
前例のない文革の中で修正主義の防止は毛思想の偉大性を示す。
毛主席の Paderborn での政治的転身が示す修正主義の防止は創造的発展
の防止を示す。
毛主席の偉大の偉大の英智が今回の文革を勝利の道に指導した。
これは、M.L. 主義が毛思想の発展に示す発展は大きく目印である。

(林彪の教訓) —— 毛主席の復讐者

林彪は語彙の豊穡な文筆家であり、毛主席の教訓に「序文」を添えて、
林彪は我が副統帥であり、最も尊敬に毛思想を守り、~~守り~~ 創造的進
用した。毛主席の教訓は用するべきを身につけ、~~守り~~ 我々の教訓である。
部隊の活動は次々と進み、党の指導は活用するべき、~~守り~~ 我々の教訓である。

林彪は四つの要素が大事の教訓である。
① 人の要素 ② 政治工作 ③ 思想工作 ④ 生活思想

これは三大主義を登場させた教訓である。—— 政治、軍事、経済に對する修正
主義毛主席は三大、八項を適用する教訓である。

3.8 作風は語彙 201 ページ。
林彪は修正主義の防止は、戦いのときは自然の高さの道が示す教訓である。
四つの—— 四つの —— ① 政治思想が示す

- ② 3.8 作風
- ③ 軍事訓練線
- ④ 生活管理

現在、四つの中から修正主義の防止の道を示す。
林彪の原則は、我々が変質の道を示す大なる貢献である。

(我々の部隊に於ける学習活用 —— 半私批評)

我々の部隊に於ける半私批評は、毛主席の「大躍進行軍」に教訓を守ると
旨とし、その学習活用は毎日の生活に旨とする。
語彙 序文 四部 —— 学習は二部、問題のモットー、学習活用、学習上運
用、語彙、サマセテ必要とする先は「学」で、9ヶ月の努力が「学」の道を示す。
運用 = 思考力、ライティング、ナラナラ。

① 大胆に「学」する。
我々の Bourgeois 思想を捨て去る。
② 最も重要な問題を提起して、我々の問題を提起して、我々の問題を提起して、
最も重要な問題を提起して、我々の問題を提起して、我々の問題を提起して、

③ 高レベルの「批評」をする。
これは自己批判を中心として行う。我々の高レベルの要求は自己批判を行うべき。
④ 徹底的に「学」する。
最後に、我々の問題を提起して、我々の問題を提起して、我々の問題を提起して、

我々の主要な問題は、我々の問題を提起して、我々の問題を提起して、我々の問題を提起して、
部隊全体の問題を提起して、我々の問題を提起して、我々の問題を提起して、

学習の活用は、我々の問題を提起して、我々の問題を提起して、我々の問題を提起して、
我々の問題を提起して、我々の問題を提起して、我々の問題を提起して、

今我々が我々の問題の中心の改正と我々の場合にも、幹部が我々の問題を提起して、
幹部が我々の問題を提起して、我々の問題を提起して、我々の問題を提起して、

毎日、我々の問題を提起して、我々の問題を提起して、我々の問題を提起して、
我々の問題を提起して、我々の問題を提起して、我々の問題を提起して、

各部門が、我々の問題を提起して、我々の問題を提起して、我々の問題を提起して、
我々の問題を提起して、我々の問題を提起して、我々の問題を提起して、

(軍隊の三大任務)

我が軍隊の三大任務は、

① 戦い

戦いの目的は戦争準備に備えて、国際情勢の緊張、特に各国の武装斗争の力の増大に備える。今、我が国は、戦い行動の準備は完了した。

② 工作隊

三支両軍の任務遂行の工作隊として多数の幹部が派遣される。

- 支 左派大衆
- 支 工業労働者
- 支 農民

軍 軍事管理…… 戦争準備の民衆組織を作り出す。人民大衆に民衆組織を組織して軍事組織の指導をさせる。

③ 生産隊

戦中に土地をとり、人民の利益と土地の改良が必要がある。一般農民は生産参加して生産隊としての役割を完了させる。

我が部隊にはこの生産参加がある。穀類は80%、野菜類は人民に供給する。

このことは、国の戦産を豊かにし、人民の負担を軽くし、戦後の戦産を豊かにする。最も重要な目的は、生産に参ることにあり、労働人民の同志は、同志間の同志思想にあり、この修正主義と対する重要な措置の一つでもある。

このようにして我が強さを示す。生産的建军思想に基くものであるが、その目的は、歴史的に、史上の革命目的と無異な思想の革命にある。

從つて中国解放軍は、最も強固な武器は思想であり、その最も強固な武器は力がある。

Proletariat 戦い行動の人民大衆は、この努力を怠らぬ。

(飼育及(概観)張理文の講話)

——私には、戦い行動の準備と関係がある。

高橋と平野は、戦車隊と関係がある。安田隊は関係がある。この戦い行動は、戦い行動の準備と関係がある。

この指導部に、戦い行動の準備と関係がある。戦い行動の準備と関係がある。

戦い行動の準備と関係がある。戦い行動の準備と関係がある。

戦い行動の準備と関係がある。戦い行動の準備と関係がある。

戦い行動の準備と関係がある。戦い行動の準備と関係がある。

戦い行動の準備と関係がある。戦い行動の準備と関係がある。

戦い行動の準備と関係がある。戦い行動の準備と関係がある。

戦い行動の準備と関係がある。戦い行動の準備と関係がある。

戦い行動の準備と関係がある。戦い行動の準備と関係がある。

戦い行動の準備と関係がある。戦い行動の準備と関係がある。

戦い行動の準備と関係がある。戦い行動の準備と関係がある。

戦い行動の準備と関係がある。戦い行動の準備と関係がある。

戦い行動の準備と関係がある。戦い行動の準備と関係がある。

戦い行動の準備と関係がある。戦い行動の準備と関係がある。

戦い行動の準備と関係がある。戦い行動の準備と関係がある。

戦い行動の準備と関係がある。戦い行動の準備と関係がある。

戦い行動の準備と関係がある。戦い行動の準備と関係がある。

戦い行動の準備と関係がある。戦い行動の準備と関係がある。

戦い行動の準備と関係がある。戦い行動の準備と関係がある。

戦い行動の準備と関係がある。戦い行動の準備と関係がある。

戦い行動の準備と関係がある。戦い行動の準備と関係がある。

自分の中の教養と學問を人民に取引たい。そして階級の出身と志を、其の流に流さう。 二つをその中の「彼」の思想改造と誓う。これは

字に「革命」を、照らす。「改造」も、——この二つに、

子脈の病を自分の「業」として「自」に「病」した。此の「心」として、

私心が起す。 二つは、毛主席の教養の思想に、

二つは、八日間の「自」に「業」を「病」した。この二つは、

二つは、二つの「自」に「業」を「病」した。この二つは、

面合ひに「自」に「業」を「病」した。この二つは、

二つは、二つの「自」に「業」を「病」した。この二つは、

二つは、二つの「自」に「業」を「病」した。この二つは、

二つは、二つの「自」に「業」を「病」した。この二つは、

二つは、二つの「自」に「業」を「病」した。この二つは、

二つは、二つの「自」に「業」を「病」した。この二つは、

[留院医師・杜水信の話]

——偉大の毛思想は手術台を照らした。

6月 2、28 牛嶋の母が 18歳の娘をとりよせ、

「解院軍」の「自」に「業」を「病」した。この二つは、

——65年冬の「自」に「業」を「病」した。この二つは、

「病」因が不明の「自」に「業」を「病」した。この二つは、

悪性の腫瘍が「自」に「業」を「病」した。この二つは、

二つは、二つの「自」に「業」を「病」した。この二つは、

この二つは、二つの「自」に「業」を「病」した。この二つは、

結果と「自」に「業」を「病」した。この二つは、

二つは、二つの「自」に「業」を「病」した。この二つは、

二つは、二つの「自」に「業」を「病」した。この二つは、

二つは、二つの「自」に「業」を「病」した。この二つは、

二つは、二つの「自」に「業」を「病」した。この二つは、

二つは、二つの「自」に「業」を「病」した。この二つは、

二つは、二つの「自」に「業」を「病」した。この二つは、

二つは、二つの「自」に「業」を「病」した。この二つは、

二つは、二つの「自」に「業」を「病」した。この二つは、

二つは、二つの「自」に「業」を「病」した。この二つは、

二つは、二つの「自」に「業」を「病」した。この二つは、

二つは、二つの「自」に「業」を「病」した。この二つは、

二つは、二つの「自」に「業」を「病」した。この二つは、

二つは、二つの「自」に「業」を「病」した。この二つは、

二つは、二つの「自」に「業」を「病」した。この二つは、

二つは、二つの「自」に「業」を「病」した。この二つは、